

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	三次市立三次中学校	校長	池田 誠	担当者名	河内 哲志
-----	-----------	----	------	------	-------

取組事例名 『 きらり三次中 』

生徒指導に係る連携体制の確立	カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通じた絆づくり
----------------	------------------------------	---	----------------

取組における育てたい資質・能力

- 学校行事や学級活動に主体的に取り組める力
- 相互理解，相互評価ができる力

取組のねらい

- 生徒会の自治活動を通して，生徒自身が考え企画しながらよりよい学校及び学級環境を創る取組を進めることで，生徒の達成感や生活意欲の向上につなげ，物事に主体的に取り組める力の育成を図る。
- 仲間からの肯定的なメッセージを共有することで，相互理解・相互評価ができる力を育成するとともに，生徒の自己肯定感，自己存在感，自己有用感の向上を図る。

取組の具体的内容

- 学級委員会による「きらり三次中」の計画・立案・運営
- 掲示物の作成，準備
- 学級委員会による各学級への取組の目的及び内容の説明
- 「きらり三次中」の取組の実施



- 学級委員会による生徒朝会でのメッセージの紹介

取組の創意工夫

- 学級委員長が生徒朝会で呼びかけ，その後，各クラスで学級委員が取組への協力を募ることで，担当委員としての自覚を持たせた。
- 名前を挙げながら（本人には事前に確認）他者評価をすることで，取組のねらいの達成にせまった。
- 生徒朝会等で中間評価や振り返りを行うことで取組の活性化及び改善へつなげた。

取組の成果と課題

【成果】

・【学校生活アンケートより】

項目	第1回	第2回	差
生徒会活動や学校行事に積極的だ	77.7%	87.8%	+10.1%

・【総合質問紙調査 i-check より】

項目	第1回	第2回	差
自分には，いいところがあると思いますか	65.1%	69.0%	+3.9%

- ・上記アンケート結果から，生徒の主体性，相互理解，相互評価ができる力及び自己肯定感の向上につながったと考えられる。

【課題】

- ・生徒全員分のメッセージが掲示されているわけではなく，寂しい思いをした生徒がいることも考えられる。それらの生徒への心のケアや，生徒全員に対して肯定的なメッセージが掲示されるよう取組方の工夫が必要である。